

京都大学数理解析研究所は創立以来40年余り数学では唯一の全国共同利用研究所として毎年共同利用研究計画を公募し、近年では年間70件以上の研究計画を実施しています。さらに、1991年からは通年の「RIMSプロジェクト研究」の制度を所内措置として設け、国際共同利用研究の場を提供し、所員による研究と国内・国外の共同利用研究を3本柱として、我が国の数学・数理科学の発展のために貢献するべく努力を続けています。

さて、昨年度の運営委員会において、共同利用事業に関して下記のような2つの方策を採ることを決定しましたので、ここにご報告します。その趣旨は、研究計画の種別の性格を明確にして機動的に運用し、研究活動の質を高めること、また、その成果の情報公開を促進することにあります。

なお、数理解析研究所としては、国立大学法人化後の研究環境の動向にも留意し、今後もさらに数学・数理科学の研究の進展に貢献するための方策を検討しています。数学会の皆様、また周辺分野の方々のご協力、ご支援をお願いいたします。

ちなみに、研究所1階ロビーの2台のパソコンもSSH, Internet Explorer 搭載のものに本年2月より機種変更し、平日の9時から17時まで研究集会等への参加者の利用に供しています。

#### 1. 「共同利用研究報告集」の刊行について

本年2004年度より、共同利用研究の実績を情報公開するため、当該年度に実施された共同利用計画について研究代表者に「研究成果報告書」を作成していただき、これをとりまとめて翌年度始めに「共同利用研究報告集」を刊行することにしました。

「研究成果報告書」の書式は、研究計画の種別により異なりますが、いずれも数理解析研究所ホームページよりダウンロード可能です。

<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/>

#### 2. 共同利用計画の種別の変更について

今年秋に公募を行う2005年度分より、種別は以下の3種類とします。

##### ①長期研究員 これまで通り。

数理解析研究所に長期に渡り滞在して行う研究活動。年1度秋に公募し、研究期間は原則として年度を超えることはできない。

##### ②RIMS 共同研究

特定の研究課題毎に結成された20名程度までの研究グループ（研究協力者として申請した者）が1週間以内の期間でセミナー室等に参集して行う共同研究活動。

- ・萌芽的な共同研究およびそれ以前の孵卵期にある研究や予備的な研究も歓迎します。
- ・研究の実施方法は、協力者の追加も含めて、研究代表者に一任し、研究所としてプログラムの公開等を行いません。
- ・最新のトピック等にも迅速に対応するため、公募は年2回、秋に加えて、翌年春にも（つまり 2005 年春から）当該年度後半に実施予定の計画に限定して追加募集を行います。

### ③RIMS 研究集会

研究成果の公表および討論を中心とする公開の研究集会。

- ・研究所よりプログラムを公開する。年1度秋に公募する。
- ・なお、規模の大小に拘わらず、研究成果の発表を主目的とする計画は RIMS 研究集会として申請してください。

上記②の追加募集に関しては、機動性と経費削減のため、運営委員会のもとに小委員会を設けて当該年度後半に実施する計画の採択を行う予定です。

上記の件についてご質問などありましたら、下記宛にお問い合わせください。

研究交流室（共同利用掛） kyodo (at) kurims.kyoto-u.ac.jp